

令和8年度  
事業計画書

特別養護老人ホーム 厚生センター八雲

## 目 次

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 1 事業運営計画-----                     | P 1 |
| 2 実施施策の令和8年度行動計画-----             | P 2 |
| (1) 利用者一人ひとりの生活を支えるサービスの質の向上----- | P 2 |
| (2) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり-----  | P 4 |
| (3) 地域との共生と安定した経営基盤の確立-----       | P 8 |
| 3 目標利用率-----                      | P11 |
| 4 固定資産物品購入計画-----                 | P11 |
| 5 修繕計画-----                       | P11 |
| 6 大規模修繕計画-----                    | P11 |

---

## 1 事業運営計画

| 事業の種類及び利用定員 |   |     |       |     |
|-------------|---|-----|-------|-----|
| 1           | 介護老人福祉施設  | 75名 |       |     |
| 2           | 短期入所生活介護  | 5名  |       |     |
| 運営方針        |   |     |       |     |
| 1           | 介護老人福祉施設  |     |       |     |
| (1)         | 入居者の人権及び意思を尊重した施設サービス計画に基づき常にその人らしい生活ができるようサービスを提供する。   |     |       |     |
| (2)         | 入居者満足を高める為に、定期的にサービス内容を点検し、分析評価した上で、常にその改善を図ることに努める。  |     |       |     |
| (3)         | 入居者が、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に置いて、明るく清潔で家庭的な雰囲気に配慮し、地域社会や家族との結び付きを重視し社会性のある援助を行う。   |     |       |     |
| (4)         | サービス提供に当たっては、関係法令を遵守するとともに、懇切丁寧を旨とし、入居者又はその家族に対して介護上必要な事項について、理解しやすいように説明を行い、同意を得て実施する。   |     |       |     |
| (5)         | 地域の福祉の充実に寄与するため、圏域の関係機関と連携を図るとともに、経営基盤を磐石にするために、社会福祉事業に関する熱意及び能力を有する職員を育てる。八雲は、入居者の人権尊重と保護を基本に、健全な環境の下で社会福祉事業に関する熱意及び能力を有する職員による適切な援助を行う。 |     |       |     |
| 2           | 短期入所生活介護  |     |       |     |
| (1)         | 利用者の人権及び意思を尊重した施設サービス計画に基づき常にその人らしい生活ができるようサービスを提供する。   |     |       |     |
| (2)         | 利用者満足を高める為に、定期的にサービス内容を点検し、分析評価した上で、常にその改善を図ることに努める。  |     |       |     |
| (3)         | 利用者が、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に置いて、明るく清潔で家庭的な雰囲気に配慮し、地域社会や家族との結び付きを重視し社会性のある援助を行う。   |     |       |     |
| (4)         | サービス提供に当たっては、関係法令を遵守するとともに、懇切丁寧を旨とし、入所者又はその家族に対して介護上必要な事項について、理解しやすいように説明を行い、同意を得て実施する。   |     |       |     |
| (5)         | 地域の福祉の充実に寄与するため、圏域の関係機関と連携を図るとともに、経営基盤を磐石にするために、社会福祉事業に関する熱意及び能力を有する職員を育てる。施設は、利用者の人権尊重と保護を基本に、健全な環境の下で社会福祉事業に関する熱意及び能力を有する職員による適切な援助を行う。 |     |       |     |
| 職種別職員配置     |   |     |       |     |
| 1           | 介護老人福祉施設・短期入所生活介護   |     |       |     |
| 職種          | 正規職員  | 準職員 | 非常勤職員 | 合計  |
| 施設長         | 1   |     |       | 1   |
| 事務職員        | 1   | 2   |       | 3   |
| 栄養士         | 1   |     |       | 1   |
| 調理員         | 2   | 2   | 1.6   | 5.6 |
| 生活相談員       | 2   |     |       | 2   |

|         |    |    |      |      |
|---------|----|----|------|------|
| 介護支援専門員 | 1  |    |      | 1    |
| 介護職員    | 24 | 15 | 3.4  | 42.4 |
| 看護職員    | 4  |    | 0.8  | 4.8  |
| 機能訓練指導員 | 1  |    |      | 1    |
| 夜間介護員   |    |    | 0.6  | 0.6  |
| 介護助手    |    |    | 2.7  | 2.7  |
| 警備従事者   |    |    | 0.5  | 0.5  |
| 用務員     |    |    | 1.6  | 1.6  |
| 合計      | 37 | 19 | 11.2 | 67.2 |

### 地域における公益的な取組

#### 1 厚生センター八雲の取組

- ・社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度の利用による生活困窮者の支援
- ・松江市「介護の出前授業」職員派遣
- ・松江市「認知症サポーター養成講座」講師職員派遣
- ・松江市指定福祉避難所
- ・ぼうさい古志原ネットワーク協力機関

#### 2 松江市社会福祉法人連絡会において実施される取組への協力

- ・「ふくしなんでも相談窓口」の設置
- ・地域住民からの生活、福祉相談の受付
- ・講師派遣事業
- ・物品、機材等の貸し出し事業

## 2 実施施策の令和8年度行動計画

### (1) 利用者一人ひとりの生活を支えるサービスの質の向上

#### ア 個別ニーズに応じた専門的なケアの充実で、個々の利用者 QOL を高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 職員の専門性向上とチームケアの充実   |
| 取組の方向性① | 専門職として個々のスキルアップを図るために必要な知識の習得に努め、実践力を身につける。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症チームケア実践のために必要となる研修等へ職員を派遣し、施設全体の認知症対応力向上を図る。</li> <li>・看取りに関する研修等に参加することにより、看取り期における各職種役割を理解し、実践できる職員を育成する。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | 多職種連携によるチームケアを実践し、多角的な視点で入居者にとっての最善を導き出すことのできる力を養う。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護員を含めた多職種が各々の専門的視点から根拠に基づいてケアに関する議論を行えるよう、カンファレンス開催方法等を見直す。</li> </ul>   |

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 入居者・家族の期待に応えるサービスの提供   |
| 取組の方向性① | 入居者個別の「大切なこと」を支援するという意識を持ち、個別ニーズを的確に把握した上でサービス提供ができる。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活歴や嗜好、意向調査結果などから入居者、家族の想いを反映したケアプランおよび24Hシートを作成し、ご本人らしい暮らしを支える。</li> <li>ACPについての研修を実施し、理解促進をすすめ、入居時から施設全体でサポートする体制を強化する。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | ICT機器を含む様々なツールを活用し、入居者の様子を把握し、家族等と共有することで良好な関係を築く。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を活用した家族等との連携方法に関するルールを確立し、家族等へ周知した上で運用を開始する。</li> <li>新システムを活用し、家族等を含む関係者間での情報共有を円滑に行い、入居者、家族等の思いに寄り添える体制を整える。</li> </ul>        |

#### イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者の満足度を高める。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 安心安全な暮らしの保障  |
| 取組の方向性① | 予防的リスクアセスメントとしてのヒヤリハット報告を最大限に活用し、事故対策部会において実効性のある対策を立案・周知し、職員が予防策を講じることのできる力を養う。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>事故対策部会でヒヤリハットの要因を分析し、具体的な再発防止策を全職員に周知し予防力を養う。</li> <li>事故防止研修を実施し、事例検討を通じて職員の危険予知能力を向上させ安全な環境を整え、防げる事故を減らす取組を行う。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | 権利擁護への意識を高め、定期的にチェックリスト等を活用しながら不適切ケアが発生しない倫理観を醸成する   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフチェックリストを定期活用し、スピーチロックや不適切ケアの有無を職員自ら振り返りを行う。</li> <li>権利擁護推進員養成研修に職員を派遣し、研修で得た知識や技術を活かした取り組みを行い入居者の尊厳を守る。</li> </ul>      |

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 災害に強い施設づくり  |
| 取組の方向性① | BCPを職員が正確に理解し、有事の際に活用できるよう周知と実態に合わせた見直しを行う。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に事業継続計画に基づく初動対応訓練を実施し、実効性を加味した計画に適宜見直しを行う。</li> <li>感染症対策について協力医療機関からの講師派遣等の協力を得ながらマニュアルの実効性を点検し、有事に職員が迷わず行動できるよう周知徹底する。</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
| 取組の方向性② | 夜間や休日を想定した実践的な訓練を定期的に行い、職員の緊急時における対応能力の向上と定着を目指す。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間の火災を想定した避難訓練を実施し、少人数の職員による迅速な誘導・連絡体制を習得する。</li> <li>・ 消防設備の使用法および初動対応の日中訓練を行い、有事に確実に行動することができる能力を高める。</li> </ul> |

#### ウ テクノロジーを活用した根拠のあるケアの提供で、サービスの質を高める。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 専門職がケアに集中できる体制の整備  |
| 取組の方向性① | 職員が円滑に使用できるように ICT 機器（インカム、記録システム等）の導入目的と活用方法に関する研修等を継続的に行う。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 導入・運用 WT を中心にインカムや記録システムの操作研修を随時実施し、現場での利活用を定着させる。</li> <li>・ 新たな機器の導入目的および操作方法を職員研修により周知し、全職員が不安なくテクノロジーを介護場面で活用できるようになる。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | 質の高いケアに充てる時間を意識した業務全般の見直しを積極的に行う。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護業務・勤務体制 WT を中心に現行の業務フローを可視化し、介護助手への業務移管等を検討、実施する。</li> <li>・ ICT 導入活用による余剰時間を創出し、入居者に関わる時間に充てる。</li> </ul>                              |

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 根拠ある介護の実践  |
| 取組の方向性① | 科学的介護情報システム（LIFE）のフィードバックデータや見守りシステム等の利用可能なデータを分析、活用し、客観的評価に基づくケアの提供を目指す。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LIFE のフィードバックデータや眠り SCAN、D-free などのデータを担当者会議等で活用し、多職種による分析と検証を行うことで根拠に基づいたケアを実践する。</li> </ul>                                 |
| 取組の方向性② | 「根拠のあるケア」を目的とした専門研修を行い、根拠を明確にした手順の統一により、ケアの質のばらつきを解消する。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排泄、口腔ケア等のテーマについての専門職による介護技術研修を実施し、手順の統一によりケアの質の標準化を図る。</li> <li>・ 24H シートで手順を明文化し、職員が共通認識を持った一貫性のあるケアを実践できる体制を整える。</li> </ul> |

#### (2) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

##### ア 採用ブランディングの強化と多様な人材活用で、優秀な人材を獲得する。

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 実施施策    | 選ばれる職場づくりの推進                      |
| 取組の方向性① | 「選ばれる職場」のアプローチとして求職者や将来の働き手となり得る層 |

|         |  |
|---------|--|
|         | に厚生センター八雲を選択されるための働きかけを行う。   |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 活用の様子や職場の雰囲気が伝わるよう、ホームページや SNS を使って、求職者が魅力を感じられるよう発信する。</li> <li>市内の小中高校生を対象とした「介護の出前授業」「福祉教育」へ職員を派遣し、介護の魅力や施設の目指す姿などを将来の担い手へ伝える。</li> </ul>    |
| 取組の方向性② | 自施設の強みや優位性を分析し、結果を職員で共有する等により、職員自身が誇りと希望を持って働ける施設づくりを進める。  |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>理念浸透研修にて自施設の優位性を再認識する機会とし、職員が誇りをもって働ける意識を醸成する。</li> <li>外部からの見学を積極的に受け入れるとともに見学後アンケートを実施し、その結果を職員にフィードバックすることで自施設への評価の共有と必要に応じた施設改善に繋げる。</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 実 施 策   | 施設からの情報発信の促進   |
| 取組の方向性① | 施設の活動内容に加え、求める人材を明確にした職場の状況を幅広い年齢層に合わせた媒体で継続的に発信する体制を整える。  |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報係を中心に SNS や広報誌を活用し職場の雰囲気や環境が伝わるような内容を月 1 回以上配信する。</li> <li>特色あるケアやサービス内容、ICT 機器の活用状況などを紹介した広報誌「八雲通信」を定期的に作成し、地域住民や関係機関への積極的な配布により施設の認知度を高める。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | 施設が目指すケアの方向性やその実践場面について、介護を目指す若年層や地域住民等へ伝える機会を設け、施設認知度の向上を図る。  |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>介護を学ぶ学生等の施設見学や職場体験学習等を随時受け入れ、介護現場や施設で使用している ICT 機器の活用場면을直接体験する機会を設ける。</li> <li>認知症サポーター養成講座等へ職員を講師として派遣し、地域住民に施設の専門性と目指すケアの方向性を周知する。</li> </ul>           |

イ キャリア形成の仕組みを整え、職員が成長を実感できることで個々のモチベーションを高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実 施 策   | 職員個々のスキル向上への支援拡充  |
| 取組の方向性① | 施設内研修や情報交換会の在り方について検討し、職員が主体的に参加する仕組みを構築する。   |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修部会において施設内研修のあり方を検討し、職員ニーズを反映した研修の企画、開催方法を再構築する。</li> <li>ユニットやフロア単位でのミニ研修を推進し、現場で直面する具体的な課題に対する解決力をチーム単位で見につける。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | 資格取得や外部研修への参加を促進し、職員の学びたい気持ちや個々の特   |

|         |   |
|---------|---|
|         | 性、成長段階に応じて意欲的に取り組める環境を整備する。   |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の学びたい意欲や取り組みたいことを聴き取り、研修への参加機会の提供や取組の実現に向けてユニットや係長以上の職員と共有し、実践に向けた協力を強化する。</li> <li>・ 喀痰吸引等研修、実務者研修等への参加を希望する職員に対し、情報提供や勤務調整等による支援を行い、計画的に派遣する。</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 実 施 施 策 | やる気をもって働ける職場の醸成  |
| 取組の方向性① | やりがいを感じながら仕事をすることができるよう職員の業務改善提案や意見が適切に反映される仕組みを構築する。  |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務改善提案を募る仕組みを強化し、経営企画会議での検討結果を迅速に現場へフィードバックし、実現、反映させる。</li> <li>・ 新しく入職した職員や若手職員などの新たな視点からの意見や提案が職場改善に活きる環境を整える。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | チーム間の相互理解と協力体制を深めるための活動を職員自身が企画、実施できるよう取り組む。   |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同ユニット会議の活性化のため、開催方法、内容等について検討する。</li> <li>・ 他ユニットの状況を共有し、サポート体制などの確認を行い、ユニットを超えた協力体制を強固にする。</li> </ul>                     |

#### ウ 風通しの良い職場風土づくりで、健康的で働きやすい職場環境を構築する。

|         |  |
|---------|--|
| 実 施 施 策 | ストレスなく誰もが安心して働ける職場の維持  |
| 取組の方向性① | 職員間のコミュニケーションを活性化するための方法を検討、実施する。  |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員がストレスを抱えたまま業務にあたることがないよう管理職による個別面談を定期的に行う。</li> <li>・ 部署の枠を超えて職員が気軽に交流ができる機会を検討し、職員自ら企画実施する。</li> </ul>     |
| 取組の方向性② | ハラスメントについての理解促進と対策を継続的に行い、防止に努める。  |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハラスメントに関する研修を積極的に受講し、誰もが心理安全性を感じながら働ける職場を守る。</li> <li>・ メンタルヘルス研修を実施し、職員がストレスをため込まず健康的に働ける体制作りを行う。</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
| 実 施 施 策 | 身体への負荷を低減する介護の推進  |
| 取組の方向性① | 腰痛予防に関する研修や移乗用具の適切な使用方法に関する研修を継続的に行い、ノーリフティングケアを推進する。                               |
| 行 動 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移乗に関する福祉用具（各種リフト、スライディングボード、シート</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>等)の安全な使用のため、外部講師による操作研修や技術講習を定期的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>腰痛予防を目的として行っているラジオ体操の参加促進に取り組み、実効性を高める。</li> </ul>                          |
| 取組の方向性② | 腰痛予防のためのリスクアセスメントの定期的実施等、職員の身体的負担を把握し、個別リスクも考慮した福祉用具活用を進める。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>「介護作業者の腰痛予防対策チェックリスト」を実施し、職員自ら介助動作や作業環境などをチェックする機会とする。</li> <li>抱え上げ介助をしないケアを定着させるためにユニット会議において定期的に移乗方法の検討を行う。</li> </ul> |

## エ ICT の活用で業務の生産性を高め、職員の多様な働き方を実現する。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 新しい介護スタイルの早期構築と実践   |
| 取組の方向性① | インカムやスマートフォンによる記録や情報共有方法を早期に構築し、実際の介護場面での活用を定着させる。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 導入・運用 WT において、本格運用となる介護システムを含む各種 ICT 機器について、全職員が円滑かつ有効に利活用するための運用ルールを設定を行う。</li> <li>新システム運用に必要となる基本操作方法や技術等の職員への普及を行う。</li> </ul>   |
| 取組の方向性② | 検討・普及の中心となる職員を育成し、リバースメンタリングでの施設内技術指導や外部に向けた取組の情報発信等を積極的に行う。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 導入・運用 WT メンバーが中心となり、各種操作技術に長けた職員を育成し、OJT により他職員に対しての技術指導を実践する。</li> <li>機器活用に関する研修を開催し、操作方法の習得や機能の理解を促進する働きかけを行う。</li> <li>自施設の ICT 活用事例を外部へ積極的に発信し、先進的な取組を通じた施設ブランドの確立と求心力を高める取り組みを行う。</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 生産性向上に資する働き方の創造  |
| 取組の方向性① | 現在の業務内容の洗い出しと再整理を行い、介護助手等との業務の共同化や移管を促進し、ICT 機器の導入効果も含め専門職がケアに集中できる時間を確保する。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>介護業務・勤務体制 WT において ICT 機器の導入・運用に伴う介護業務の手順や方法の検討を行う。</li> <li>上記チームメンバーを中心に専門業務と周辺業務を整理し、介護助手への業務移管を進め、専門職の負担軽減につなげる。</li> <li>各種業務マニュアルの点検、介護助手の業務内容の統一及び定着に取</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
|         | り組む。  |
| 取組の方向性② | 時間外勤務縮減のための業務フローの見直しを行い、業務負担の偏りを是正するとともにより良い勤務体制を検討する。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部署別の時間外勤務発生理由の分析を行い、勤務区分の有効活用や業務フローの見直しなどの改善策を提案、試行する。</li> </ul>  |
| 取組の方向性③ | 支援課だけでなく総務課の ICT 活用による業務効率化を検討し、介護現場をサポートできる体制を強化する。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総務課業務生産性向上 WT において事務部門及び調理部門の業務フローの見直しや ICT 活用についての検討を行う。</li> <li>・ 事務業務の効率化を進めることにより、介護現場を含めた全体的なサポート体制を強化する。</li> </ul> |

### (3) 地域との共生と安定した経営基盤の確立

#### ア 地域の関係機関との連携を深め、地域の中で果たすべき役割を明確にする。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 地域との更なる連携強化   |
| 取組の方向性① | 地域の各種機関（地区社協、公民館、医療機関等）との協力関係を深め、地域協力を通して連携を強化する。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古志原地区社会福祉協議会等への参画や公民館活動などの参加を通じて地域との連携強化に努める。</li> <li>・ 協力医療機関と連携し、会議、研修等の協力を通じ、情報共有を円滑にする。</li> </ul>                            |
| 取組の方向性② | 介護、健康に関する知識の普及啓発、教育現場における福祉教育の講師、積極的な介護等実習の受け入れを継続するとともに施設設備を社会資源として提供し、地域への貢献度を高めていく。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域の小中高校生を対象とした「介護の出前授業」「福祉教育」へ講師として職員を派遣し、実技や福祉機器等について学ぶ機会を提供する。</li> <li>・ 認知症サポーター養成講座等、地域のニーズに即した研修や情報提供について検討、実施する。</li> </ul> |
| 取組の方向性③ | 厚生センター50周年記念事業の実施   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開所 50 周年における記念事業等の実施について厚生センター全体で企画をすすめ、滞りなく実施する。</li> </ul>   |

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 地域拠点としての役割  |
| 取組の方向性① | 有事の際に地域との相互協力が行えるよう、従前の防災訓練への地域住民の参加に加え、自然災害時の連携をぼうさい古志原ネットワークの協力機関としての立場も踏まえて検討する。                               |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災訓練への地域住民の参加を募るとともに「ぼうさい古志原ネットワーク」の協力機関として災害時の具体的な連携手順を協議する。</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
| 取組の方向性② | 近隣住民へ福祉や防災への対応方針等に関する情報提供を行い、厚生センター八雲が地域で果たす役割を広く周知する。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を対象とした施設見学の受け入れや広報誌、ホームページを活用した情報発信を行い、地域における「ふくしなんでも相談窓口」としての役割の周知を図る。</li> </ul> |

#### イ 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 安定収入の確保  |
| 取組の方向性① | 利用率を維持し、長期入院による空床を減らすさまざまな取組を検討実施する。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>入所候補者を常時 5 名程度確保するための事前調査を計画的に実施し、待機者の状況把握と迅速な受け入れ体制を整える。</li> <li>短期入所の利用を促進するため関係機関へ空床も含めた情報を提供し、利用率の維持を図る。</li> <li>高齢者の代表的な疾患に対する日常の観察視点や予防ケアについて、専門職による研修を実施し、長期入院を防ぐ取組を行う。</li> </ul> |
| 取組の方向性② | 報酬改定の動向を常に注視し、今後想定される施設の役割変化への対応も含め、算定可能な加算を適切に取得できる体制を整える。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>報酬改定の動向を注視し、算定可能な加算を確実に取得できるよう体制を整える。</li> </ul>  |

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 効果的な支出の最適化  |
| 取組の方向性① | 経費の流れを理解し、費用対効果を意識する気運を醸成する。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニット代表者会議において消耗品や修繕など支出金額について数値を共有し、職員一人ひとりがコストを意識して業務を行う。</li> </ul>  |
| 取組の方向性② | 生活支援課と総務課の情報伝達がこれまで以上に円滑となり、長期的な目線で優先順位を明確にした予算管理が行える。  |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>経営企画会議において予算執行状況を精査し、優先順位に基づいた修繕や購入を行う。</li> <li>総務課業務生産性向上 WT において、予算実行状況が各部署間で共有できるような仕組みを検討する。</li> </ul> |

#### ウ 中長期的な視点をもった事業運営で、経営の持続性・透明性を高める。

|         |   |
|---------|---|
| 実施施策    | 円滑な大規模修繕の実施   |
| 取組の方向性① | 大規模修繕計画に沿った修繕・更新箇所の洗い出しと想定される経費等を明確にし、事務局及び関係業者等との協議を円滑に行う。                       |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模修繕計画に基づき、事務局や業者と行程・経費に関する協議を</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
|         | 定期的に開催し、建物の長寿命化に向けた適切な改修を実施する。   |
| 取組の方向性② | 入居者の生活への影響を可能な限り抑えた厚生センター全体の修繕工程を組み立てることができるよう関係部署間の調整を図る。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度に実施する照明器具のLED化工事について、工事期間中の騒音や環境変化が入居者に与える影響を最小限にするため、各部署間で調整を行い、円滑に進むようスケジュールを組み立てる。</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 実施施策    | 法令遵守による信頼性の確保  |
| 取組の方向性① | 法令遵守のための研修や勉強会を継続的に実施することで職員の意識を高め、運営基準、重要事項説明書及び施設サービス計画の内容について確実に履行する。   |
| 行動計画    | <ul style="list-style-type: none"> <li>「法令遵守・職業倫理研修」を全職員対象に実施し、重要事項説明書や運営基準の内容が適切に履行されているかの確認の場とする。</li> <li>報酬請求業務において加算算定や過誤請求が発生しないよう、報酬請求事務マニュアルを活用し、複数の職種間で請求情報の相互確認を徹底する。</li> </ul> |

## 3 目標利用率

| 事業名      | 令和6年度実績 | 令和7年度見込 | 令和8年度目標 |
|----------|---------|---------|---------|
| 介護老人福祉施設 | 96.5%   | 96.5%   | 97.0%   |
| 短期入所生活介護 | 92.4%   | 96.1%   | 95.0%   |

## 4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

| 項目                      | 数量 | 執行見込額（税込） |
|-------------------------|----|-----------|
| 電動ベッド KA-N1721（更新）      | 3台 | 990       |
| 床走行リフト KQ-781（更新）       | 1台 | 375       |
| チルド庫用冷蔵庫 HR-150B-ML（更新） | 1台 | 897       |
| 冷蔵庫 HR-180B3-ML（更新）     | 1台 | 976       |
| スライサーOSI-06S（更新）        | 1台 | 1,245     |
| 電話交換機用蓄電池               |    | 165       |
| 昇降式テーブル                 | 1台 | 120       |
| デスクトップパソコン              | 5台 | 770       |

## 5 修繕計画（大規模修繕を除く。）

(単位：千円)

| 項目           | 執行見込額（税込） |
|--------------|-----------|
| 非常用発電機保全整備一式 | 131       |
| 地震被害修理       | 1,419     |

## 6 大規模修繕計画

(単位：千円)

| 項目           | 執行見込額（税込） |
|--------------|-----------|
| 照明器具 LED 化工事 | 16,500    |